

# ALSI クラウド型セキュア Web ゲートウェイサービス 「InterSafe GatewayConnection」の機能を強化し 10月25日にアップデート配信

—スマートデバイスのセキュリティ対策を強化し、持ち出しデバイスにも対応—

アルプス システム インテグレーション株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:永倉 仁哉、以下 ALSI[アルシー])は、クラウド型セキュアWeb ゲートウェイサービス「InterSafe GatewayConnection (インターセーフ ゲートウェイコネクション)」を機能強化し、2018年10月25日にアップデート配信することを発表いたします。

## ■製品概要

サービス名	クラウド型セキュアWebゲートウェイサービス「InterSafe GatewayConnection」
アップデート日	2018年10月25日
ターゲット	国内企業 300~3,000 ユーザー規模
詳細情報 URL	<a href="http://www.alsi.co.jp/security/isgc/">http://www.alsi.co.jp/security/isgc/</a>

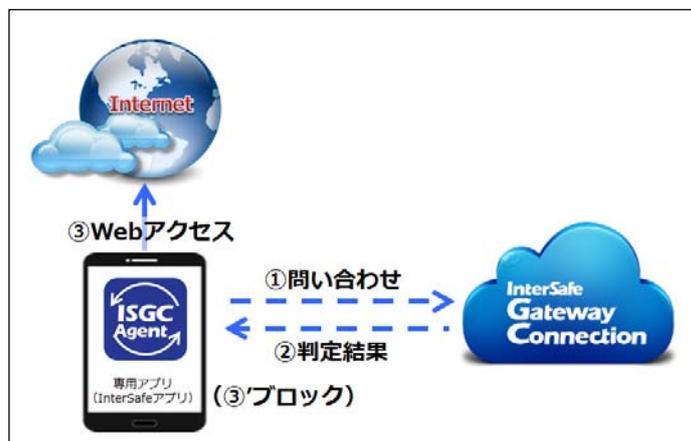
## ■機能強化のポイント

現在、国内の各企業において「働き方改革」が推進され、サテライトオフィスやコワーキングスペースの活用、在宅勤務など、場所にとられないテレワークの導入が増えてきております。テレワークでは、安全が担保されていない社外からインターネットにアクセスすることになります。また、企業から貸与されている業務利用端末は、PCに加えてスマートフォンやタブレットなど、デバイスの種類も多岐に渡ります。セキュリティ上危険な Web サイトにアクセスしてしまう可能性もあり、情報漏洩やウイルス感染、標的型攻撃などのインターネットリスクへの対策が課題となります。

「InterSafe GatewayConnection」は、標的型攻撃に用いられる脅威サーバへの通信をブロックする「サイバー攻撃対策サービス」、「Web フィルタリングサービス」、マルウェア感染を防止する「アンチウイルスオプション」を提供する、クラウド型セキュア Web ゲートウェイサービスです。

「InterSafe GatewayConnection」をプロキシに設定するだけで、これらのサービスが利用できます。特に「Web フィルタリングサービス」では、高精度 URL データベースと高度分類クラウド「IWCC」(Intelligent Web Classifier Cloud)のダブルエンジンによる、高度なセキュリティを提供しています。

この度のアップデートでは、昨今企業の課題となっているスマートデバイスのセキュリティ対策を強化いたします。アップデートによる主な機能強化ポイントは、次の通りです。



▲「InterSafe GatewayConnection」と専用アプリ「ISGC Agent」の動作イメージ

## スマートデバイスへの対応強化

専用アプリ「ISGC Agent」をインストールすることにより、スマートデバイス(iOS、Android)の標準ブラウザや業務システムなどに搭載されるアプリ内ブラウザでの Web フィルタリングを実現します。フィルタリング専用ブラウザは不要なため、既存の業務システムの利用を妨げることなく、スマートデバイスで抜け漏れのない Web フィルタリングが利用できます。

なお、2019年春からはインシデントアラート機能を拡張する予定です。今後も ALSI は、社会の動きやお客様のニーズをタイムリーに反映し、サイバー攻撃から情報を守り安全に利用できる製品やサービスを提供してまいります。

※掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

## 【このリリースに関するお問い合わせ・取材受付先】

アルプス システム インテグレーション株式会社 URL : <http://www.alsi.co.jp/>  
 管理部 管理課 広報担当 黒澤 宏子 E-mail : [hiroko.kurosawa@alsi.co.jp](mailto:hiroko.kurosawa@alsi.co.jp)  
 〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7 TEL: 03-5499-8043 FAX: 03-3726-7050